

市民の土木賞 市民と歩む土木の業績部門

特別賞

県土を学ぼう！キッズプロジェクト
丹波市立 遠阪小学校 「さくろう遠阪の道 ~むかし、今、これから~」

社会基盤学習 県土を学ぼう！キッズプロジェクト

兵庫県では、河川、道路などの社会基盤を学習フィールドとした体験的学習をとおして、社会基盤が日常生活にどのように役立っているかを知り、地域を思いやる気持ちを育むことを願って社会基盤学習「県土を学ぼう！キッズプロジェクト」を実施している。

丹波市立 遠阪小学校 「さくろう遠阪の道 ~むかし、今、これから~」

平成18年7月に北近畿豊岡自動車道の兵庫県丹波市～朝来市間が開通したことをきっかけに、自動車道と並行する国道427号が学校の前を通っている丹波市立遠阪小学校4年生の児童8名が、キッズプロジェクト実践校として活動した。自動車道開通にともなう地域の変化や道路の役割について学習し、その学習成果を発表した。



交通量調査

業績のポイント

高規格道路の開通という貴重なタイミングを活用して、学校教育の「総合的な学習」に社会基盤学習を組み込むことで、社会基盤施設の整備効果や地域に及ぼす影響を直接体験し、それを理解する機会を提供した事業である。

児童自ら、自動車道の開通前後で学校の前を通過する自動車台数と騒音を計測し、その変化を調べるという体験的学習を実践した。

自分たちが暮らしているまちの移り変わりについて家族や近所の人のお話を聞くという学習をとおして、家庭や地域社会にまで活動を広げた。

土木職員が出前講座（2回）を学校授業のなかで実施し、土木工事や土木技術、環境配慮への工夫及び社会基盤整備の必要性を、子供たちにも理解できる内容にして直接伝えた。

社会基盤学習への取り組みをPRするキッズプロジェクト発表会（兵庫県主催、開催規模900人、参加校7校）に参加した。活動内容は、「平成18年度 県土を学ぼう！キッズプロジェクト活動報告書」に掲載されている。



新聞記事



出前講座



キッズプロジェクト発表会



位置図

応募者名	丹波市立遠阪小学校 兵庫県丹波県民局県土整備部柏原土木事務所
事業実施場所	兵庫県 丹波市 青垣町
期間	平成18年 5月 ~ 平成18年11月